

# ＝ 会 告 ＝

## 講演会・見学会等の開催予定

2021年6月10日現在

開催予定 月 日	講 演 申込締切	前刷原稿 提出締切	催 し も の	開 催 地	共催学協会名	企画部門	備 考
2021年8月 4日(水)～ 6日(金)	2021年 3月22日(月)	2021年5月 31日(月)	第63回構造強度に関する講演会 オンライン開催		日本機械学会 宇宙航空研究開発機構	構造部門委員会	69巻3月 会告3頁
2021年9月 3日(金)			関西支部 第478回航空宇宙懇談会	兵庫県 神戸市		関西支部	69巻7月 会告4頁
2021年9月 6日(月)～ 10日(金)	2021年 3月1日(月)	2021年7月 15日(木)	The 32nd Congress of the International Council of the Aeronautical Sciences(ICAS2021)	中国 上海市			
2021年11月 9日(火)～ 12日(金)	2021年 6月11日(金)	2021年8月 23日(火) 17:00	第65回宇宙科学技術連 合講演会オンライン開催	山形県 山形市	山形県, 山形市, 宇宙航空研究開発機構(予定)	宇宙航空 部門委員会	69巻5月 会告2頁
2021年11月 15日(月)～ 17日(水)	2021年 6月30日(水)	2021年 8月27日(金)	アジア太平洋航空宇宙 技術国際シンポジウム 2021(APISAT-2021)	韓国 済州島	RAeSAAustralian Division, KSAS, CSAA	APISAT 連絡・実行 委員会	
2021年11月 30日(火)～ 12月2日(木)	2021年 7月2日(金)	2021年 9月10日(金) 17:00	第59回飛行機シンポジ ウム(*コロナ禍の状況 によりオンラインへ変 更の可能性あります)	徳島県 徳島市	日本航空技術協 会	空気力学, 材料, 構造, 機器・電子 情報システム, 飛行力学, 生産 技術, 航空機設 計, 特殊航空機, 回転翼航空機, 航空機運航・整備, 原動機・推進, 航空交通管理の 12部門委員 会	69巻6月 会告9頁
2022年2月 26日(土)～ 3月4日(金)	2021年 8月18日(水)	2021年12月 25日(土)	第33回宇宙技術および 科学の国際シンポジウ ム(ISTS) ハイブリッド開催	大分県 別府市		第33回 ISTS組織 委員会	69巻2月 会告表2

新型コロナウイルスの感染終息の見込みがたたないことから、状況によっては講演会を中止させていただく場合がありますので、ご来場前に、必ずホームページ等で開催の有無をご確認下さい。

<https://www.jsass.or.jp/> <日本航空宇宙学会 事務局 Tel : 03-6262-5313>

### 会員数 (2021年5月末)

資格	正会員	学生会員	名誉会員	賛助会員 (個人)	賛助会員 (団体)
5月会員数	3329	1024	53	0	64
4月会員数	3329	1030	53	0	63
差 引 増 減	0	-6	0	0	1

#### 新入会員名簿賛助会員 (団体)

ZAZA(株)

#### 新入会員名簿正会員 (敬称略)

湾口智哉(防衛装備庁), 戸部裕史(宇宙航空研究開発機構), Christopher Mercer(国立研究開発法人物質・材料研究機構), 金 相均(九州工業大学), 海野 敦(三菱重工業(株)), 寺本正彦(永瀬産業(株)), 山崎政彦(日本大学), 園田健彦((株)ワープスペース), 吉田純也(三菱電

機エンジニアリング(株)), 今井裕士(エレクトロインパクトジャパン), 小池宏樹((株)本田技術研究所), 嶋田恒介(新明和工業(株)), 小川泰一郎(大阪府立大学), 河合達樹(三菱重工業(株)), 井上孝輝(三菱電機エンジニアリング(株)), 太田智己((株)菱友システムズ), 大神沙姫(本田技術研究所)

#### 新入会員名簿学生会員 (敬称略)

神田直樹(東北大学), 植島久暉(帝京大学), 田中颯志(金沢工業大学 院), 江藤滉祐(広島大学), 原 勇心(東北大学), 渋川雅人(早稲田大学), 重永裕輝(宇都宮大学院), 森 健登(名古屋大学), 齊藤拓実(東北大学), 丸山佳那子(東北大学), 宮下岳士(北海道大学 院), 河本凉(東京都立大学), 石垣 希(帝京大学), 濃野 歩(東京大学 院), 小磯拓哉(東京大学)

### 第31回（2021年度）日本航空宇宙学会賞の候補を下記の要領で募集致します。

#### 第31回（2021年度）日本航空宇宙学会論文賞候補

##### 募集要項

**目的：**航空・宇宙工学と航空宇宙産業の発展を奨励することを目的とする。

**受賞資格：**日本航空宇宙学会正会員および学生会員。ただし、対象者が複数にして本会会員が主たる場合は、本会会員以外の者を含むことを妨げない。また、過去に奨励賞授賞対象となった論文は本論文賞の対象としない。

**対象論文：**<対象期間> 2018年4月から2021年3月までに発行されたもの。  
<対象掲載誌>  
① 日本航空宇宙学会誌、論文集  
② Transactions of the Japan Society for Aeronautical and Space Sciences  
③ 和文オンラインジャーナル「航空宇宙技術」  
④ 英文オンラインジャーナル“Transactions of JSASS, Aerospace Technology Japan”  
のいずれかに掲載された論文。

**表彰：**2022年4月の日本航空宇宙学会定時社員総会において表彰を行い、副賞を贈呈する。

**件数：**2件以内

**応募締切：**推薦（自薦を含む）の申込みは、2021年8月9日（月）まで

#### 第31回（2021年度）日本航空宇宙学会技術賞候補

##### 募集要項

**目的：**航空・宇宙工学と航空宇宙産業の発展を奨励することを目的とする。

**受賞資格：**日本航空宇宙学会正会員および学生会員。ただし、対象者が複数にして本会会員が主たる場合は、本会会員以外の者を含むことを妨げない。  
なお、本会会員を含む研究開発チーム等、組織としての受賞も可とする。

**対象技術：**過去数年以内に完成した新技術で、①画期的な新製品の開発、製品の品質または性能の向上、あるいは生産技術の向上に寄与したもの（基礎技術部門）、および②飛行実証を伴う規模の大きな研究開発、困難な宇宙航行を伴うミッション達成など、航空宇宙の発展に新境地を拓いたプロジェクト（プロジェクト部門）。

**表彰：**2022年4月の日本航空宇宙学会定時社員総会において表彰を行い、副賞を贈呈する。

**件数：**①、② 各々に対して2件以内

**応募締切：**推薦（自薦を含む）の申込みは、2021年8月9日（月）まで

#### 第31回（2021年度）日本航空宇宙学会奨励賞候補

##### 募集要項

**目的：**航空・宇宙工学と航空宇宙産業のために、若い優秀な会員の育成を奨励することを目的とする。

**受賞資格：**日本航空宇宙学会正会員および学生会員で、2021年4月2日現在において満35才未満の者。ただし、過去に日本航空宇宙学会賞（論文賞、技術賞、奨励賞）を受けた者および本年度の日本航空宇宙学会論文賞、技術賞内定者を除く。

**対象業績：**（1）論文  
<対象期間> 2018年4月から2021年3月までに発行されたもの。  
<対象掲載誌>  
① 日本航空宇宙学会誌、論文集  
② Transactions of the Japan Society for Aeronautical and Space Sciences  
③ 和文オンラインジャーナル「航空宇宙技術」  
④ 英文オンラインジャーナル“Transactions of JSASS, Aerospace Technology Japan”  
のいずれかに掲載された論文。  
（2）発明、考察、発見  
（3）その他の航空・宇宙工学と航空宇宙産業上の業績。

**(注) 共同でなされたものについては、本人が中心の役割を果たしていること。**

**表彰：**2022年4月の日本航空宇宙学会定時社員総会において表彰を行い、副賞を贈呈する。

**件数：**3件以内

**応募締切：**推薦申込みは、2021年8月9日（月）まで

**【問合せ先】**一般社団法人 日本航空宇宙学会 事務局  
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町4-1-21  
近三ビルディング4階  
TEL：03-6262-5313/FAX：03-6262-5314  
E-mail：office@jsass.or.jp

**【 推薦申込み用紙等のお問合せは、日本航空宇宙学会事務局まで 】**

## 一般社団法人日本航空宇宙学会学生賞の候補者推薦校募集のお知らせ

2021年6月1日  
第53期理事会

一般社団法人 日本航空宇宙学会では、学生の航空宇宙工学への関心増大を図ることを目的として、2001年度から日本航空宇宙学会学生賞を制定し、大学学部および高等専門学校での航空宇宙工学系の学科およびコースを新たに卒業する学生のうち、各学校からご推薦の学業優秀者を対象として賞状および副賞を贈呈し、表彰しております。学生賞の受賞候補者は極力本会の学生会員であることが望ましく、本会が候補者推薦校として依頼した学校の推薦が必要です。今般、学生賞の候補者推薦校を募集いたしますので、応募を希望される学校は、本会事務局までお申し出ください。

◎ 学生賞候補者推薦校の要件

候補者推薦校は航空宇宙工学のカリキュラムを持った学科およびコースのある大学および高等専門学校とします。

◎ 候補者推薦依頼校一覧

2021年6月1日現在の推薦依頼校の一覧は下記のとおりです。ご参照ください。

京都大学	工学部 物理工学科 宇宙基礎工学コース
大阪府立大学	工学域 機械系学類 航空宇宙工学課程
鳥取大学	工学部 機械物理系学科 航空宇宙工学プログラム
九州大学	工学部 機械航空工学科 航空宇宙工学コース
日本文理大学	工学部 航空宇宙工学科
崇城大学	工学部 宇宙航空システム工学科
第一工業大学	航空工学科
九州工業大学	工学部 機械知能工学科 宇宙工学コース
高知工科大学	システム工学群 航空宇宙工学専攻
東京都立産業技術高等専門学校	ものづくり工学科 航空宇宙工学コース

室蘭工業大学	工学部 機械航空創造系学科 航空宇宙システム工学コース
東北大学	工学部 機械知能・航空工学科 航空宇宙コース
帝京大学 日本大学 東京大学 東京工業大学 東京都立大学	理工学部 航空宇宙工学科 理工学部 航空宇宙工学科 工学部 航空宇宙工学科 工学院 機械系 システムデザイン学部 航空宇宙システム工学科
横浜国立大学	理工学部 建築都市・環境系学科 海洋空間のシステムデザインEP
防衛大学校	システム工学群 航空宇宙工学科
東海大学 早稲田大学	工学部 航空宇宙学科 基幹理工学部 機械科学・航空学科
神奈川工科大学	工学部 機械工学科 航空宇宙学専攻
名古屋大学	工学部 機械・航空工学科 航空宇宙工学コース
金沢工業大学	工学部 航空システム工学科
静岡大学 名城大学 中部大学	工学部 機械工学科 理工学部 交通機械工学科 工学部 宇宙航空理工学科

◎ 応募方法

応募者は、大学/学校の代表者等とし、A4判紙に、① 大学名/学校名、② 代表者名(捺印)、③ 学科名/コース名(航空宇宙工学のカリキュラムを持った学科/コースであることを証する書類、およびカリキュラムの内容を記載した書類を添付のこと)、④ 受講者数、⑤ 学科長名、⑥ 連絡先(所在地、電話、FAX、E-mail)等を明記して、本会事務局まで郵送してください。

◎ 選考

本会理事会で行います。選考結果は応募大学/学校の学科長に郵送にてお知らせいたします。

◎ 応募締切

2021年8月27日(金) 必着

◎ 問合せ先

一般社団法人 日本航空宇宙学会 事務局  
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町4-1-21  
近三ビルディング4階  
TEL : 03-6262-5313 / FAX : 03-6262-5314  
E-mail : office@jsass.or.jp

【応募申込用紙、問合せ等は、日本航空宇宙学会事務局まで】

## 日本航空宇宙学会関西支部 第478回航空宇宙懇談会

主催：日本航空宇宙学会関西支部

日時：2021年9月3日（金）15時～17時

会場：神戸大学大学院工学研究科本館 C3-302講義室

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

<http://www.eng.kobe-u.ac.jp/accessmap/index.html>

※ 駐車場はありません。公共交通機関をご利用下さい。

※ オンライン開催に切り替える可能性もあります。HPで最新情報を御確認ください。

### 講演 1

#### 大型膜面宇宙構造物の振動計測について

鳥取大学工学部機械物理系学科  
准教授 岩佐貴史

ソーラー電力セイルやインフレーターブルアンテナのような薄膜で構成される宇宙構造物は、軽量性・収納性・展開性に優れた構造である。しかし、外力に対する抵抗力は小さく展開時の衝撃力や運用時のマヌーバ等によって振動が発生する。薄膜を用いた宇宙構造物は膜面状態が運用性能に直接影響を及ぼすものも多く、膜面状態を適切に把握することが必要となる。しかし、大規模な構造物になるほど高い空間分解能で膜面全体を詳細に計測することは難しく、限られた計測点でしかデータを取得できなくなる。この場合、計測した点で必ずしも最大応答を計測できるわけではなく、膜面全体でどの程度の大きさの振動が生じているか把握することができない。そこで、限られた離散点計測データから膜面の振動応答上限値を簡易的に推定する方法について学生とともに検討している。本講演では、その一環として実施している格子投影法を利用した薄膜の動的3次元形状計測について紹介するとともに研究の概要についてお話しする。

### 講演 2

#### 炭素繊維強化プラスチックの動的応力カーヒズミ特性の評価：圧縮と引張り

岡山理科大学工学部機械システム工学科  
准教授 中井賢治

高分子基複合材料（以下、複合材と略す）は金

属材料と比較して比強度、比剛性が高いだけでなく、疲労寿命や耐食性・耐摩耗性にも優れているため、航空機体、自動車部品、各種スポーツ用具、風車部材など広範に使用されている。これらの複合材構造物は稼働（使用）中、外部より様々な方向から動的負荷が作用すると同時に環境（温度や湿度など）の変化も受けるが、それらの影響を同時に調べた研究はこれまであまり報告されていない。本研究では、炭素繊維強化プラスチック（CFRP）の主軸3方向すなわち繊維（1-）、面内横（2-）、板厚（3-）方向における圧縮応力カーヒズミ特性（極限圧縮強度、極限圧縮ひずみ、極限圧縮ひずみ値までの吸収エネルギー）のひずみ速度及び温度依存性を実験的に評価したので、その内容についてお話しする予定である。また、現在、CFRPの板厚方向の動的引張り特性評価や、自動車等の工業用製品のマルチマテリアル化の研究開発の第一歩としてCFRPとアルミ合金の接着接合材の動的引張り特性評価についても取り組んでいるため、それらの内容についても紹介する予定である。

#### 参加費：

無料（参加は学会員に限りません。周りの方や学生の皆様にもお伝え下さい。）

#### 参加登録：

①氏名 ②所属 ③役職 を2021年8月31日（火）までに下記事務局までご連絡ください。

#### 問合先：

大阪大学 大学院基礎工学研究科  
日本航空宇宙学会 2021年度関西支部事務局  
<http://branch.jsass.or.jp/kansai/>  
TEL: 06-6850-6165 (杉山)  
E-mail:  
[jsass-kansai2021@flow.me.es.osaka-u.ac.jp](mailto:jsass-kansai2021@flow.me.es.osaka-u.ac.jp)

## 【有料会告】

### 大阪産業大学 工学部 交通機械工学科教員公募

1. 職名：教授、准教授または講師、募集人員：3名
2. 所属：工学部 交通機械工学科
3. 専門分野：交通機械に関わる(1) 交通情報システム・交通環境工学、(2) 航空宇宙・新規移動体、(3) 自動運転技術・新エネルギー駆動システムなどの分野を専門とし、以下の科目を担当できる方

4. 担当科目：

機械工学の基礎科目（材料、熱、流体、機械力学など）、学生実験・実習科目、卒業研究などに加えて、以下(1)～(3)の中の専門科目を担当していただく予定です。(1) 交通環境工学、交通情報システムおよびプログラミングなどの情報系専門科目、(2) 航空工学および交通システムなどに関する専門科目、(3) ビークルエネルギー工学、交通原動機学、自動運転技術もしくは新エネルギー駆動システムなどに関する専門科目

大学院を担当できる方を採用する場合は、採用された方の専門性に応じた専門科目、修士もしくは博士論文の研究指導

5. 応募資格：(1) 私立大学が直面する状況を理解した上で、教育・研究に情熱を持ち、学生を指導していただける方、(2) 学部・学科の運営に支障なく積極的に取り組んでいただける方、(3) 博士の学位を有する方、(4) 国籍は問わないが、教育活動および学内業務において日常的に日本語が使える方、(5) 教授または准教授の場合は、大学院を担当できる方

6. 着任時期：2022年4月1日

7. 提出書類：(1) 履歴書（本学指定の様式 ※）、(2) 教育研究業績書（本学指定の様式 ※）、(3) 主要著書・論文等の別刷（コピー可、最近5年以内のもので3編程度）、(4) これまでの教育と研究の概要（2000字程度、様式は自由）、(5) 着任後の教育・研究および学生指導に対する抱負（2000字程度、様式は自由）、(6) 最終学位証明書（取得大学発行のもの、間に合わない場合は二次選考時に提出で構いません）※ 本学指定様式のダウンロードおよび詳細については、以下のURLをご覧ください。

<https://www.osaka-sandai.ac.jp/recruit/>

8. 応募締切：2021年8月31日（火曜日）必着

9. 選考方法：一次選考：書類審査、二次選考：一次選考合格者に対して面接（交通費等は自己負担）

10. 応募書類提出先および問合せ先

〒574-8530 大阪府大東市中垣内3-1-1 大阪産業大学 工学部 交通機械工学科 学科主任 福岡 克弘

Tel：072-875-3001（代表）、E-mail：[fukuoka@tm.osaka-sandai.ac.jp](mailto:fukuoka@tm.osaka-sandai.ac.jp)

応募書類には「交通機械工学科 教員応募書類在中」と朱書きし、必ず書留または簡易書留にて郵送してください。なお、応募書類は返却いたしません。

## 【有料会告】

### 東京都立産業技術高等専門学校 ものづくり工学科 航空宇宙工学コース 教員公募

1. 公募人員：准教授又は助教 1名
2. 所 属：東京都立産業技術高等専門学校 ものづくり工学科 航空宇宙工学コース
3. 専門分野：航空機整備、航空工学
4. 担当科目：航空機基本技術、実験・実習など
5. 応募資格：①高専での教育・研究に、理解と強い意欲がある方  
②学生指導に熱意をもち、本校の運営に積極的に貢献できる方  
③航空機整備訓練課程及び航空従事者養成施設を担当するのに必要な能力、経験及び航空技術者の技能証明(固定翼)を有している方  
④航空工学及び基礎的な工学の科目が担当できる方
6. 採用年月：令和4年4月1日
7. 任 期：3年（任期3年目の審査を経て任期の定めのない雇用となります。詳しくは下記「専任教員採用ホームページ」をご参照ください。）
8. 待遇，提出書類等：詳細な情報は下記「専任教員採用ホームページ」をご覧ください。
9. 応募締切：令和3年8月20日（金）必着
10. 選考方法：1次選考は書類選考を実施し、2次選考は第1次選考通過者に対して面接を行います。
11. 書類送付先：東京都公立大学法人 総務部人事課人事制度係  
[kyoinkobo-kosen@jmi.tmu.ac.jp](mailto:kyoinkobo-kosen@jmi.tmu.ac.jp)
12. その他：本校「専任教員採用ホームページ」[http://www.houjin-tmu.ac.jp/recruit\\_teacher/cit/](http://www.houjin-tmu.ac.jp/recruit_teacher/cit/)

## 本会共催・協賛・後援行事

システム制御情報学会・計測自動制御学会チュートリアル講座2021  
主 催：システム制御情報学会・計測自動制御学会  
期 日：2021年7月21日(水)  
会 場：オンライン (Zoom Meeting)

KISTEC 教育講座 計算力学の基礎  
主 催：神奈川県立産業技術総合研究所  
期 日：2021年8月16日(月)～27日(金)  
(計7日間の集中講義)  
会 場：オンライン講座

日本混相流学会混相流シンポジウム2021  
主 催：日本混相流学会  
期 日：2021年8月22日(日)～24日(火)  
会 場：オンラインのみ、または、オンラインとオンサイト (関西大学 千里山キャンパス) のハイブリッドで準備中

日本実験力学会 2021年度年次講演会  
主 催：日本実験力学会  
期 日：2021年8月25日(水)～27日(金)  
会 場：オンライン開催

第49回可視化情報シンポジウム  
主 催：可視化情報学会  
期 日：2021年9月9日(木)～11日(土)  
会 場：慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎 (神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1) ハイブリッド方式

第31回設計工学・システム部門講演会  
主 催：日本機械学会  
期 日：2021年9月15日(水)～17日(金)  
会 場：オンライン・バーチャル会場

ヒューマンインタフェースシンポジウム2021  
主 催：ヒューマンインタフェース学会  
期 日：2021年9月15日(水)～17日(金)  
会 場：オンライン開催

日本流体力学会年会2021  
主 催：日本流体力学会  
期 日：2021年9月21日(火)～23日(木)  
会 場：オンライン講演会

公開シンポジウム：「海・空・宇宙のCOVID-19対応と今後のパンデミック対応に向けて」  
主 催：日本学術会議フロンティア人工物分科会・企画小委員会  
期 日：2021年9月22日(水)  
会 場：リモート開催

## 第26回 スカイスポーツシンポジウム 講演募集

**主催**：日本航空宇宙学会，日本航空協会

**協賛学会**：日本機械学会(予定)

**協賛**：日本気球連盟，エクスペリメンタル航空機連盟，日本航空機操縦士協会，日本滑空協会，日本模型航空連盟，日本ハング・パラグライディング連盟，日本マイクロライト航空連盟，日本パラモーター協会

**後援**：読売テレビ(予定)

**企画**：スカイスポーツ委員会

**開催日**：令和3年11月27日(土)

**会場**：Cisco Webex Meetings (以下，Webex) を利用したオンライン開催

### 講演募集テーマ

- ① **一般講演**：人力飛行機，ハンググライダー，パラグライダー，グライダー，飛行機，ヘリコプター，模型航空機，模型ロケット，紙飛行機，自作航空機，超軽量動力機，気球，スカイダイビング等，スカイスポーツ全般に関する学術的，技術的，経験的，知識的，解説的なもの。
- ② **オーガナイズドセッション(OS)** 特定のテーマについて興味を喚起し，レベルの向上につなげることを意図し，次のものを予定している。  
OS1：模型航空機，ドローン いろいろな大会が開催され，航空法改正など過渡期にあり，それらに関連することについて検討する。  
OS2：記録，競技飛行 記録，競技飛行に伴う諸問題，今後の機体の性能向上などについて検討する。

**申込方法**：日本航空宇宙学会ホームページ (<http://www.jsass.or.jp/>) の「講演会」「講演会申込」「JSASS 講演会申込み」(アカウントを登録してください) より，ID と Password を入力した後，スカイスポーツシンポジウムの画面の指示に

従って必要事項を入力して申込みを行って下さい。OS についても同様に申し込み，備考にその旨を記入下さい。

講演申込みは，講演者1名あたり1件とします。なお，シンポジウムの趣旨にそぐわない講演については，お断りすることがあります。また講演申込み多数の場合には主催者側で選定いたしますのでご了承下さい。

講演時間は1題目につき討論を含め，20分とし，Webex を通じてオンライン又はナレーション付きパワーポイント原稿により講演下さい。討論についてはオンラインで対応をお願いします。

**申込締切**：令和3年9月17日(金)

**講演集原稿**：講演集原稿は1講演につきA4サイズ4枚とします。希望者には講演受付け後，日本航空宇宙学会より原稿執筆要領を送付いたします。

**講演集原稿締切**：令和3年10月18日(月)

締切りに遅れますと掲載できないことがありますので，あらかじめご了承願います。

**参加登録料**：無料としますが，学会ホームページから**事前登録**をお願いします。

**pdf 講演集**：学会ホームページからダウンロードの予定

**問合せ先**：〒103-0022 東京都中央区

日本橋室町4-1-21 近三ビルヂング4階

(一社)日本航空宇宙学会

スカイスポーツシンポジウム係

TEL:03-6262-5313/FAX:03-6262-5314

文部科学省宇宙航空科学技術推進委託費  
「空飛ぶクルマ産業界構築のための人材育成プログラムの提案と実践」  
令和3年度受講生募集

国立大学法人 東海国立大学機構 名古屋大学  
国立大学法人 信州大学  
学校法人 金沢工業大学

[本プログラムの目的]

近年、空飛ぶクルマ等の身近で三次元的なモビリティによる生活の大きな変化、通称「空の移動革命」が叫ばれています。本事業では、空の移動革命を実現し、空飛ぶクルマ産業の国際的イニシアティブを獲得するため、我が国に欠如している「航空安全技術」及び「認証技術」と、それらが世界的に認められるために必須となる「飛行試験技術」に関する感覚と知見を有する人材の育成を目的とします。

[令和3年度実施項目]

本年度は、夏(8月を予定)、冬(2月を予定)の2回にわたり、以下の実習により飛行試験技術構築の実際を学びます。

- 夏 (1) フライトシミュレータ実習  
(2) 空飛ぶクルマの騒音体験と安全技術・認証技術に関する講義
- 冬 (3) 飛行実験データ解析実習  
(4) JAXAにおける飛行実験の紹介, JAXA 実験用航空機の見学

受講後、空飛ぶクルマに関する安全技術・認証技術と飛行試験技術について、各自の提案書を提出

[実施期間] 2021年8月と2022年2月の数日(予定)

[実施場所] 金沢工業大学(8月)

宇宙航空研究開発機構(JAXA) 調布航空宇宙センター(飛行場分室を含む。)(2月)

[費用] 受講料無料、交通費・宿泊費は名古屋大学の規定に従ってお支払いします。

[募集人数] 8名

[応募条件] 理工系の大学、大学院に在籍しており、応募に関して大学の了解が得られていること。

[応募方法] 応募希望者は、下記連絡先のアドレスにメールを送ってください。

- ・ 件名 : 「空飛ぶクルマ委託費参加希望」
- ・ 内容 : 1. 氏名(よみがな) / 2. 大学又は大学院名・専攻・学年 / 3. 年齢 / 4. 昼間時間帯に連絡がつく電話番号 / 5. 応募の動機と実習に対する抱負(1000字程度、添付ファイル可) / 6. 指導教員の推薦状(様式不問) / 7. 連絡・照会先となる所属大学教員の所属、役職、氏名、メールアドレス、電話番号

[応募締め切り] 2021年7月20日(火) 17:30

[選抜方法] 希望者多数の場合は、2021年7月中にWeb面接により、航空機に関する知識や空飛ぶクルマへの考え等について試問を行い、受講生の選抜を行います。

[その他]

- ・ **新型コロナウイルスの感染状況等の理由により中止する可能性があります。**
- ・ 場合によっては、実習参加前に医療機関等でのPCR検査を行って戴きます(費用はプロジェクトで負担)。また実習期間中、マスク着用、手指の消毒などコロナ感染防止対策を実施して戴きます。

[連絡先]

名古屋大学フライト総合工学教育研究センター 砂田 茂 shigeru.sunada@mae.nagoya-u.ac.jp